高校再編に係る再編実施基本計画について

高校再編推進室

１　概　要

「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画【三次】」で示した東御清翔高等学校に夜間部を設置し、上田高等学校定時制を集約することについて、具体的な再編・整備を進めるため再編実施基本計画を決定する。

２　今回策定する再編実施基本計画

東御清翔高等学校への夜間部設置

（参考）

○高校の将来像を考える地域の協議会からの意見・提案を受ける

→上田地域の高校の将来像を考える協議会（令和元年８月～令和２年２月）

○「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画【三次】」を決定（令和５年１月）

○「東御清翔高等学校夜間部設置準備委員会」を開催し、地域の代表や学校関係者と学校像、教育方針、施設・設備になどについて意見交換を実施

→東御清翔高等学校夜間部設置準備委員会　６回開催（令和５年 11～令和７年 12 月）

東御清翔高等学校再編実施基本計画（案）

１　再編対象校

東御清翔高等学校、上田高等学校定時制

２　夜間部設置年度

令和 12 年度

柔軟な学びの仕組みを活かし、多様な生徒に対応する学びをさらに充実させるため、できるだけ早期の夜間部設置が必要であること、施設の整備期間等を考慮し、令和 12 年度を夜間部の募集開始年度とする。

３　設置課程・学科及び想定する募集学級数

定時制課程(夜間部)　普通科　１学級

※募集学級数は、毎年度定める「長野県立高等学校生徒募集定員」により夜間部設置前年度に決定する。

東御清翔高等学校に上田高等学校定時制を集約し、午前部・午後部に加え、夜間部を設置した３部からなる多部制単位制高校とする。東信地域の中学校卒業予定者数の推移や現在の学級数から夜間部設置年度には、４学級（午前部・午後部３学級、夜間部１学級）が想定される。

４　再編新校の学びのイメージ

別紙のとおり

生徒の幅広いニーズに応えるために、生徒に寄り添い柔軟で質の高い学びを保障し、生徒支援体制の充実等も含め、外部機関等と連携しながら、生徒が地域とともに学び自分の未来を自らの力で拓くことができる学びの場を構想する。

５　施設整備

・夜間部設置に必要な施設整備を行う。施設整備にあたっては、社会や学びの変化に対応できるよう既存施設とのつながり等にも配慮する。

・施設整備に要する期間５年程度を想定

新たな自分を　見つけて　広げて　その先へ

～地域とともに学び自分の未来を自らの力で拓く学校～

― 目指す学校像 ―

○一人ひとりの生活スタイルや学習ペースに合わせて学べる学校

○自分らしく生きるための「こころ」と「からだ」を育む学校

○地域と連携・協働する学びを通して自分の未来をデザインする学校

― 学びの柱 ―

グループ活動による学び	体系的キャリア教育 (地域と連携・協働した学び)		学習の個別最適化 (ICTを活用した学び)
実践力が育つ 総合的な 探究の時間	**課題発見** 最適解・納得解を発見	**自己理解** できること やりたいこと	**個別最適な学び** 少人数講座 習熟度別授業
自分を知る グループワーク ソーシャルスキル トレーニング	**人間関係・社会関係** 協働と協調	**地域で学ぶ** インターンシップ 東御清翔メッセ	**自分の進路・興味・関心に応じた学び** 豊富な選択科目 探究的な学び

◎一人ひとりのニーズに寄り添った多様な学びを通して
将来の夢の実現に向けて自分の可能性を追求していく

― 多部制単位制　学びの仕組み ―

☆自分で生活スタイル・学びのペースに合わせて所属部を選択☆

★各部の授業時間(例)★　**他部の受講が可能な時間帯**

	1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限	8限	9限	10限	11限	12限
午前部												
午後部												
夜間部												

- **いずれかの部に所属**
- **卒業単位は74単位以上**
- **所属部以外の授業を受講することで３年間での卒業も可能**

チームとしての学校相談体制

○各学年フロアにある相談室でいつでも職員に相談ができ、東北信地区唯一の通級指導教室を利用するなど、自身や保護者の願いに寄り添った支援を受けて自立へと踏み出していく。